

地方創生に向けた多業種連携シンポジウム&フェア 「共創の日 2018」の開催について

平成 30 年 9 月 6 日
全国農業協同組合中央会

1. 農林漁業と商工業の連携協定に基づく取り組み

- 平成 29 年 5 月 19 日、本会をはじめとする農林漁業・商工業全国 5 団体（以下、「5 団体」と表記）は、山本幸三地方創生兼規制改革担当大臣（当時）立会いのもと、「農林漁業と商工業の連携を通じた地方創生の推進に関する協定」を締結した（別紙 1）。

※全国漁業協同組合連合会、全国森林組合連合会、全国商工会連合会、
日本商工会議所、全国農業協同組合中央会

- 29 年 8 月には、当面の取り組みとして「アクションプラン」（別紙 2）を決定し、5 団体の単位組織同士の連携状況の実態把握を行い、連携に取り組んでいる地域・モデル事例の抽出・研究・横展開をすすめるとともに、団体間で連携意欲がある地域でのマッチングに取り組んでいくことを確認した。

【アクションプランにおける連携分野】

- ① 販路開拓・ビジネスマッチング
- ② 6 次産業化・商品開発（地域の未利用・低利用資源活用）
- ③ 震災復興・被災地支援
- ④ 地方移住・観光振興
- ⑤ 地域コミュニティ維持
- ⑥ その他

2. 地方創生に向けた多業種連携シンポジウム&フェア「共創の日 2018」の開催

- こうした連携の動きを背景に、内閣官房（まち・ひと・しごと創生本部）の 30 年度予算では、農林漁業と商工業の連携を後押しするシンポジウム等の開催を目的として、「多業種連携型しごと創生推進事業」として 4,000 万円が計上され、一般競争入札として公告が行われた。
- これを受け 5 団体では、同予算を活用して農林漁業と商工業のさらなる連携・振興を後押しする取り組みを実施すべく、本会が 5 団体を代表して応札し、落札した。

- 同予算を活用し、9月24日（月・休）に東京国際フォーラムにて、「地方創生に向けた多業種連携シンポジウム&フェア「共創の日 2018」」を開催する。
- 内容としては、農林漁業と商工業の連携に関する先進事例を共有する「シンポジウム」と、連携により生まれた6次化産品等の試食・販売などを行う「フェア」を同時開催する予定であり、概要は以下のとおりとなっている。

【共創の日の概要】

1. 日程

平成30年9月24日（月・休）
シンポジウム 13:00～16:00
フェア 11:00～17:00

2. 場所

東京国際フォーラム（東京都千代田区丸の内3-5-1）

3. プログラム

- ・開会
- ・開会あいさつ、5団体宣言、来賓あいさつ
- ・基調講演
- ・モデル事例報告
- ・パネルディスカッション
- ・閉会

- なお、シンポジウムにおいては、JAグループからの事例発表をJAわかやまが行うほか、団体間の取り組みをまとめた連携事例集を配布する予定。
- 開催要領等は、別添のとおり（別紙3、別紙4）。

以上

農林漁業と商工業の連携を通じた地方創生の推進に関する協定書

全国農業協同組合中央会（以下「甲」という。）、全国森林組合連合会（以下「乙」という。）、全国漁業協同組合連合会（以下「丙」という。）、全国商工会連合会（以下「丁」という。）及び日本商工会議所（以下「戊」という。）は、次のとおり包括連携協定を締結する。

（目的）

第1条 この協定は、甲、乙、丙、丁及び戊が地域の実情に配慮しつつ、相互に連携・協力に努め、農林漁業並びに商工業の振興を通じて、豊かで暮らしやすい地域社会をつくり、もって地方創生を推進することを目的とする。

（連携事項）

第2条 甲、乙、丙、丁及び戊は、前条の目的を達成するため、次の事項について連携・協力して実施するものとする。

- (1) 全国の会員組織における相互連携の推進に関すること
- (2) 農林漁業及び商工業の連携並びに6次産業化及び販路開拓、製品開発等の推進に関すること
- (3) 地域資源を活用した産業振興や観光振興など地域経済の発展に関すること
- (4) 地域コミュニティの維持発展など地域社会経済の活性化に関すること
- (5) その他相互に連携協力することが必要と認められる事項に関すること

（連携の推進体制）

第3条 本協定に関わる連携を推進させるため、「連携協力推進会議」を設置する。

（協定の継続等）

第4条 本協定は、甲、乙、丙、丁、戊のいずれかから打ち切りを申し出るまで継続するものとする。

2 甲、乙、丙、丁、戊のいずれかから協定内容の変更の申し出があったときは、その都度協議の上、その変更を行うものとする。

3 本協定に定めのない事項又は本協定に定める事項に関し疑義が生じた場合は、甲、乙、丙、丁及び戊が協議の上、これを定めるものとする。

本協定の締結を証するため、本書を6通作成し、内閣府特命担当大臣（地方創生）立ち会いのもと、甲乙丙丁戊及び立会人がそれぞれ署名の上、各1通を保有する。

平成29年5月19日

甲 東京都千代田区大手町1-3-1
全国農業協同組合中央会
会長

奥野長衛

乙 東京都千代田区内神田1-1-12
全国森林組合連合会
代表理事会長

佐藤重芳

丙 東京都千代田区内神田1-1-12
全国漁業協同組合連合会
代表理事会長

岸 宏

丁 東京都千代田区有楽町1-7-1
全国商工会連合会
会長

石澤義文

戊 東京都千代田区丸の内2-5-1
日本商工会議所
会長

三村 明夫

立会人 東京都千代田区永田町1-6-1
内閣府特命担当大臣（地方創生）

比佐幸三

農林漁業と商工業の連携を通じた地方創生の推進に関する協定 5団体によるアクションプラン

平成 29 年 8 月
全国農業協同組合中央会
全国森林組合連合会
全国漁業協同組合連合会
全国商工会連合会
日本商工会議所

1. 全国段階の取り組み

各全国団体は、連携して以下の取り組みを実施する。

① 連携状況の実態把握とモデル事例の抽出・研究・ヨコ展開

既に連携の取り組みを行っている地域や、各団体が連携を進めたい意向を相互に持つ地域を抽出してモデル事例として設定し、研究・ヨコ展開を実施

29 年度：実態把握の実施と、その結果に基づくモデル事例の抽出・研究

30 年度：モデル事例のヨコ展開

② 各地域における連携呼びかけ

各地域における連携協定の締結呼びかけ、連絡会等の設置による相互理解および連携の取り組み促進、会議・研修会における講師の相互派遣の実施等

③ 全国段階での連携による販路開拓等プロモーション活動の実施

29 年度：第一弾として、8月に5団体主催による福島フェアを開催

30 年度以降：プロモーション活動の実施等

④ 5団体共同による政府等への必要に応じた提案・要請

⑤ その他

2. 各地域（都道府県・市町村等）における取り組み

各地域の団体は、全国団体が行う実態把握結果に基づき、以下の取り組みを行う。

- ① 各地域における、相互に連携の意向を持つ団体同士の連携の取組の実施
連携協定の締結、連絡会等の設置による相互理解促進、会議・研修会における講師の相互派遣等の実施等
- ② 各地域における連携によるプロモーション活動の実施
- ③ その他

3. 連携分野（例）

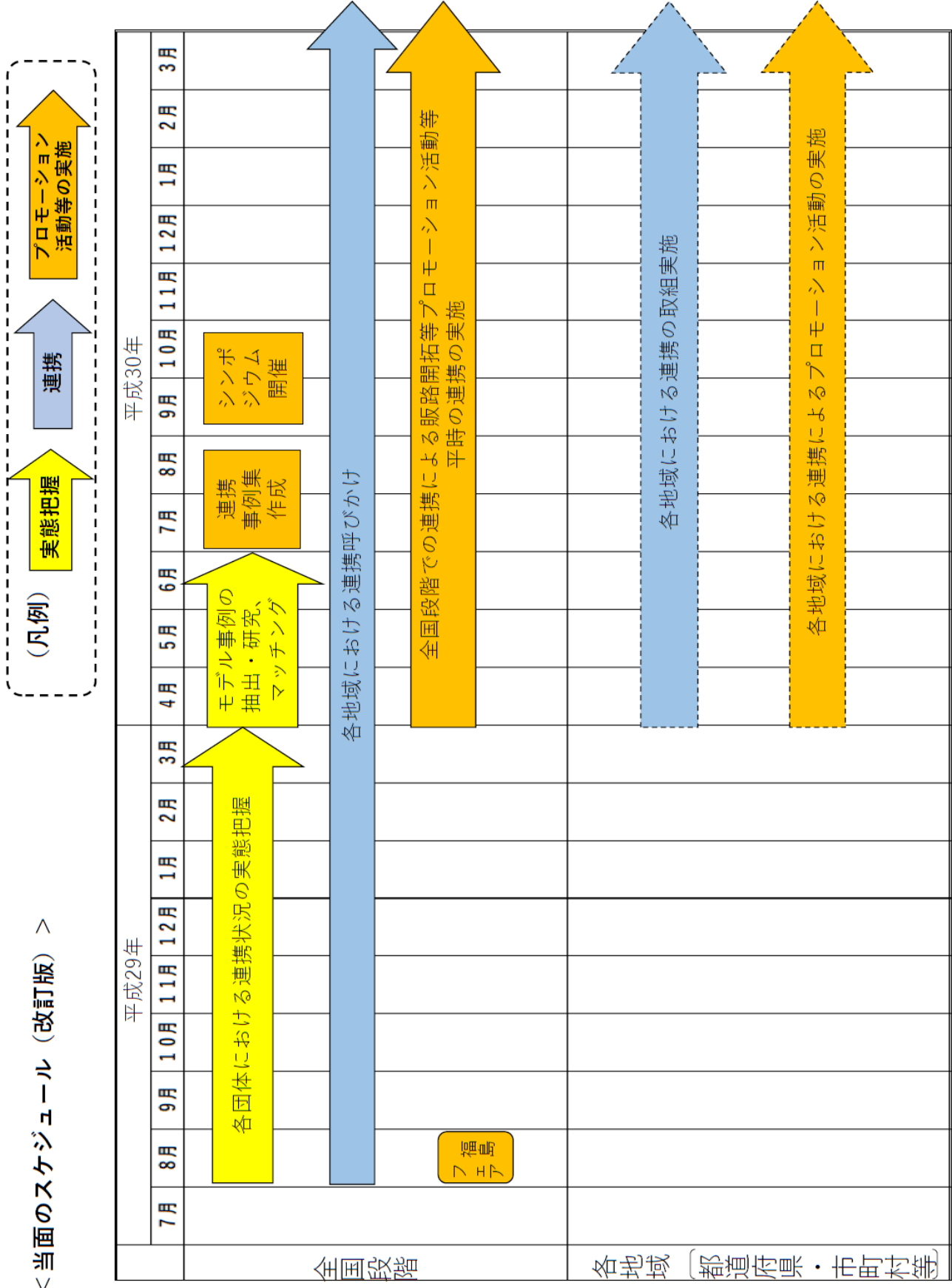
- ① 販路開拓・ビジネスマッチング
- ② 6次産業化・商品開発（地域の未利用・低利用資源活用）
- ③ 震災復興・被災地支援
- ④ 地方移住・観光振興
- ⑤ 地域コミュニティ維持
- ⑥ その他

4. 取り組みスケジュール

平成 29 年度 8 月～： 実態把握
平成 29 年度中： 連携モデル事例の抽出・研究
平成 30 年度～： モデル事例の横展開および全国段階でのプロモーション活動の実施

以 上

<当面のスケジュール（改訂版）>



地方創生に向けた多業種連携シンポジウム&フェア「共創の日 2018」

開催要領

平成 30 年 8 月
全国農業協同組合中央会

1. 趣 旨

平成 29 年 5 月に、本会をはじめとする農林漁業・商工業全国 5 団体（以下、「5 団体」）※で「農林漁業と商工業の連携を通じた地方創生の推進に関する協定」を締結し、団体間の連携した取り組みの推進等を行ってきました。

このシンポジウムは、団体が相互に連携した事例について、地域特産品の開発や販路確保の面で成果をあげている事例や地方創生に資する事例を広く普及し、全国的な連携の機運を高めることを目的として開催するものです。

※ 全国農業協同組合中央会 / 全国森林組合連合会 / 全国漁業協同組合連合会 / 全国商工会連合会 / 日本商工会議所

2. 主催・実施主体

- (1) 主催 内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局
- (2) 実施主体 農林漁業・商工業全国 5 団体

3. 日時および会場

(1) シンポジウム

平成 30 年 9 月 24 日（月・休）13 時～16 時
東京国際フォーラム 5 階 ホール B 5

(2) フェア

平成 30 年 9 月 24 日（月・休）11 時～17 時
東京国際フォーラム 地下 2 階 ホール E 2、地上広場 C・D

4. 規 模

500 名程度（団体、行政、一般来場者等）

5. 次 第（予定）

- (1) 開会
- (2) 開会あいさつ（地方創生担当大臣を予定）
- (3) 5団体宣言（中家会長ほか、各団体長を予定）
- (4) 来賓あいさつ
- (5) 基調講演
殿村美樹氏（株式会社TMオフィス代表取締役 PRプロデューサー）
※ひこにゃん、うどん県、今年の漢字等をプロデュース
- (6) モデル事例報告
 - ①かほくイタリア野菜の販路拡大（山形県・河北町商工会）
【商工会×JA】
 - ②パッションフルーツを軸とした地産・地消・地活（東京都・八王子商工会議所）
【商工会議所×JA】
 - ③森林活（もりかつ）プロジェクト（三重県・飯南森林組合）
【森林組合×商工会】
 - ④Wakayama Ginger Ale の開発・販売（和歌山県・JAわかやま）
【JA×商工会議所】
 - ⑤黒なまこを用いた新商品開発・販売（長崎県・JF大村湾）
【JF×商工会】
- (7) パネルディスカッション
和歌山大学 岸上 光克 教授（食農総合研究所・地域活性化センター）
モデル事例報告者5名
- (8) 閉会

6. その他

- (1) シンポジウムでは、各団体から推薦いただいたモデル事例を取りまとめた「連携事例集」を配布します（JAわかやま、JAなめがた、JAながの、JA柳川等を掲載予定）。
- (2) フェアは、団体間の連携により生まれた特産品の販売やご当地キャラクター、ご当地アイドル等の出演を予定しています（JAわかやま、JA邑楽館林、JAながの、JA柳川、JAグループ鹿児島等が出展）。
- (3) 詳細は、ホームページをご覧ください（<http://kyoso-day.jp/>）。

以 上

農林漁業と商工業。
共に創造する新しい産業が
 日本を元気にする。



地方創生に向けた多業種連携シンポジウム & フェア
共創の日 2018
 Collaboration for innovation



共創の日 検索
<http://kyoso-day.jp>

2018.9.24 [月・休]

東京国際フォーラム

共創シンポジウム

13:00-16:00

東京国際フォーラム 5階 ホール B5



基調講演

株式会社TMオフィス代表取締役
 PRプロデューサー

殿村美樹

スタンプラリーで
**わかやま
 ジンジャーエール**
 もらえる!

※ 無くなり次第終了

共創フェア 同時開催決定!

11:00-17:00

東京国際フォーラム 1階 地上広場 C・D / 地下2階 ホールE2



ミス日本
 みどりの女神



Menkoカールズ
 SALAD

ミス日本やご当地アイドル登場!





地方創生に向けた多業種連携シンポジウム&フェア

共創の日2018

Collaboration for innovation

2018.9.24

[月・休]

東京国際フォーラム

全国の“ご当地生まれ”に出会える日。

日本初・農林漁業と商工業の“共創”イベント、開催。



共創シンポジウム

13:00-16:00

東京国際フォーラム5階
ホールB5

基調講演



株式会社TMオフィス代表取締役
PRプロデューサー

殿村美樹



スタンプラリーで
**わかやま
ジンジャーエール**
もらえる!

※食べくらみは無料です

共創フェア 同時開催決定!

11:00-17:00

東京国際フォーラム1階 地上広場C・D / 地下2階 ホールE2



ミス日本あとの女神

ミス日本や
ご当地アイドル
登場!



東京国際フォーラム: 東京都千代田区丸の内三丁目5番1号

アクセス: 有楽町駅より徒歩1分

お問い合わせ: 共創フェア事務局 株式会社工芸社 TEL:03-5684-7348

※平日10:00-18:00に対応させていただきます(土日・祝日を除く)。

主催: 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局 実施主体: 全国農業協同組合中央会 / 全国森林組合連合会 / 全国漁業協同組合連合会 / 全国商工会連合会 / 日本商工会議所

共創の日

検索

<http://kyoso-day.jp>